

エシカル消費コース 3 環境・人・社会・地域に配慮された消費

こだわりの一着を長く大切に ~サステナブルファッションの取組~

講師 コアトリエ 代表 大山 愛美 先生



講師紹介 高校で縫製を学び、アパレルブランド、ブライダル業界を経て、全国チェーン補正店業界勤務。2018年に独立、現在県内に5店舗経営。

経営ビジョン・コンセプト **想いをつなぎ、技術をつなぎ、社会をつなぐ**

使命 「お直し」の想いと技術を、日本のアイデンティティに

ビジョン 「衣」のサステナブルの実現による、世界の環境・貧困問題の解決

解決したい社会問題 アパレル産業における大量廃棄問題・縫製の生産過程で生じる端材や企業提供の残布活用・障害者の方の雇用や賃金の課題



ファッション産業は、大量生産・大量消費、大量廃棄により、製造にかかる資源やエネルギー使用の増加、ライフサイクルの短命化などから環境負荷が非常に大きい産業と指摘され、国際的な課題になっている。

エシカルファッションとは～
素材の選定、生産、販売までのプロセスで人と地球環境に配慮して作られたファッション

人にやさしい

フェアトレードで生産者の労働環境を守っている

環境にやさしい

原材料・生産体制・郵送などにおいて環境負荷を最小限に抑えている



不要になった製品を回収しリサイクルも行う

動物を傷つける原材料を使用しない

社会にやさしい

消費者が住む地域の地場産業や伝統技術雇用を守っている

エシカルファッション10の基準

- 1、安価で使い捨て型の「ファストファッション」に反対する
- 2、生産する労働者の賃金・権利・労働環境を守っている
- 3、サステナブル(持続可能)な生活を支える
- 4、有毒農薬や化学物質の使用の問題に取り組んでいる
- 5、環境にやさしい素材を開発、または使用している
- 6、水の使用量を最小限にしている
- 7、リサイクルやエネルギー、ゴミ問題に取り組んでいる
- 8、ファッションの持続可能性を開発・促進している
- 9、新たな取り組みを人々に知らせ、解決策を広めようとしている
- 10、動物の権利を保護している

サステナブルファッションとは～
衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組み。

環境省のホームページに情報が紹介されています

環境省 サステナブルファッションで検索

#SUSTAINABLEFASHION

日本で売られている衣服の約98%が海外からの輸入です。



日本のファッション産業によるCO₂排出量は、原材料調達および製造段階で90%以上を占めており、ファッション産業を持続可能にする為には海外での環境負荷の実態把握とその削減が重要です。



#SUSTAINABLEFASHION

家庭から手放される衣服のうち、リユース・リサイクルされる割合は約34% 残りはごみとして処分されます。



もし残りの全ての衣服が回収され、リサイクルを経て原材料に再供給された場合、最大で年間約2,500万トンのCO₂排出量が削減でき、これは東京都における年間のCO₂排出量の約4割に相当します。



#SUSTAINABLEFASHION

1年間1回も着られていない服が一人あたり35枚もあります。



循環型ファッションの推進には家庭にしまひ込まれている服の活用が課題です。



#SUSTAINABLEFASHION

平均すると1日あたり大型トラック約120台分の服が焼却・埋立処分されています。



日本の家庭から焼却・埋め立てされる服は、年間約45万トン。廃棄量の削減が課題です。



持っている服を大切に!

講座終了後、数名の受講生が着物のお直しのことで先生に質問されていました。

明日から私たちが取り組めるアクションを通じて、みんなでファッションと環境の未来をより良いものに変えていきましょう。